

インドネシア水道に係る情報収集 No. 190302W

検索サイト	Google	実施日	2019/02/09	実施者	T.Masuoka
検索方法：「Indonesia Water supply」で検索					
URL ; https://english.sakshi.com/business/2019/02/28/indonesia-plastic-pipes-and-fittings-market-research-report-ken-research					
標題：Indonesia Plastic Pipes And Fittings Market Research Report					
題名；インドネシアのプラスチック管および付属品市場調査報告（ken-research 社）					
<p>内容；レポートは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆バリューチェーン分析、市場規模、管種類別（PVC, PE, ABS, PP, PVDF）及びエンドユーザー別（水道、灌漑、下水道、鉱業、ケーブル保護、ガス・消防設備等）の市場の状況、成長の要因と制約条件、主要な規制、将来展望とインドネシアにおける各企業の競合状態などについて記述している。 ☆業界の動向と、将来の変化を見据えた成長の見通しを明らかにしている。 ☆また、製造業者、小売業者および政府、業界団体及び関係者が将来の市場動向に沿う戦略の立案の参考となる。 <p>1. インドネシアのプラスチック管および付属品市場</p> <p>市場は、公共および民間部門のインフラや農業部門の投資により成長段階にある。 年平均成長率；4.3%（2012年～2018年；添付の資料より）</p> <p>2. 管種別の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○PVC管；最も広く使用、軽くて丈夫、強度があり腐食しにくい。 地下鉄や高架道路の建設等、政府のプロジェクトにより、国内の塩ビ管の需要が増大。 ○PE管；製造に技術力が必要→製造業者は限定的。 HDPE→上下水道等で広く使用、PE管で最も一般的に使用。 ○他の管種；ポリプロピレン、ABS、およびポリビニリデン 生産量は少ないが、一般に国内の下水道および排水管路で使用。 <p>3. PVC管および付属品状況；</p> <ul style="list-style-type: none"> ○uPVC（無可塑塩ビ）管；敷設が容易、大きい流速で使用でき、最も使用されている。 ○CPVC（耐熱性塩ビ）管；優れた耐熱性と耐薬品性を持つが、市場でシェアは小さい。 ○PVC-O管；比較的新しい製品、他のPVCと比較してエネルギー効率と強度が高い ○市場構造；市場は統制が取れている。 大手メーカー；PT Wahana Duta Jaya Rucika、Vinilon Group、Unilon、PT Langgeng Makmur Industri Tbk など。 					

インドネシアでは輸入の割合が大きく、主に中国と日本から。輸出は、日本と韓国。

4. PE 管と付属部材

- HD(高密度)PE 管；最も一般的に使用されている PE 管、上下水道に広く使用。
- MD（中密度）PE 管；HDPE 管より高い応力亀裂抵抗を有し、室温で非常に安定。
- LD（低密度）PE 管；電気絶縁用に最も一般的に使用されている管→
優れた電気的特性と各種化学物質に対する強い耐薬品性を有する。→ケーブル保護などに使用。

5. 最終用途；PVC と PE は、水道および灌漑分野において一般的に使用。

- ☆下水道、排水設備の増加；人口の増大と衛生意識の向上による。
- UPVC、CPVC 管；軽量で延性があり、敷設が簡単、下水道に使用。
- CPVC と MDPE；工業用及び鉱業用

6. プラスチック管と付属品市場の競争状況

国内外の 25-30 社が緩やかな棲み分けの下に健全な競争を行っており、マーケティング、プロモーション、及びエンドユーザーとのやり取りを通じて、ブランドの確立と販売店ネットワークの拡大を図っている。

中小企業は、大規模生産のための資源を持たず、主に PVC 製品を製造。

7. プラスチック管と付属品市場の将来予測

年平均成長率 5.4%；2018 年～2023 年予測；政府および民間部門によるインフラ部門への投資の急増と、人口増加にともなう住宅施設の需要の増大による。

8. その他；添付図表

- 世界銀行からの融資；
全国都市給水プロジェクト（600 万人の上下水道普及）に対して 1 億 USD を融資。
中央政府は 2019 年末までに安全な水を供給するために 40 の地方自治体と水道事業体に投資を振り分ける。
- 上水道；世帯の 72%が改善された飲料水源を利用。
その割合はバリ島で最も高く（90.85%）、パプアで最も低い（59.09%）
- 下水道；人口の 67.89%が衛生設備を利用しているが 5,100 万人が利用できず（2017 年）。
- 政府プロジェクト（農村灌漑等、2017 年開始、推定費用は約 5,530 万ドル）；
プラスチック管・付属品の灌漑分野での需要を促進。
- PE 管の利用範囲の拡大等により、PVC 管からの転換に注目。
- バイオプラスチックは市場に参入し、かなりのシェアを獲得すると期待。

備考